

地域実践研究成果の紹介

外部専門家を活用した専門性の向上 －高知県の現状と取組から－

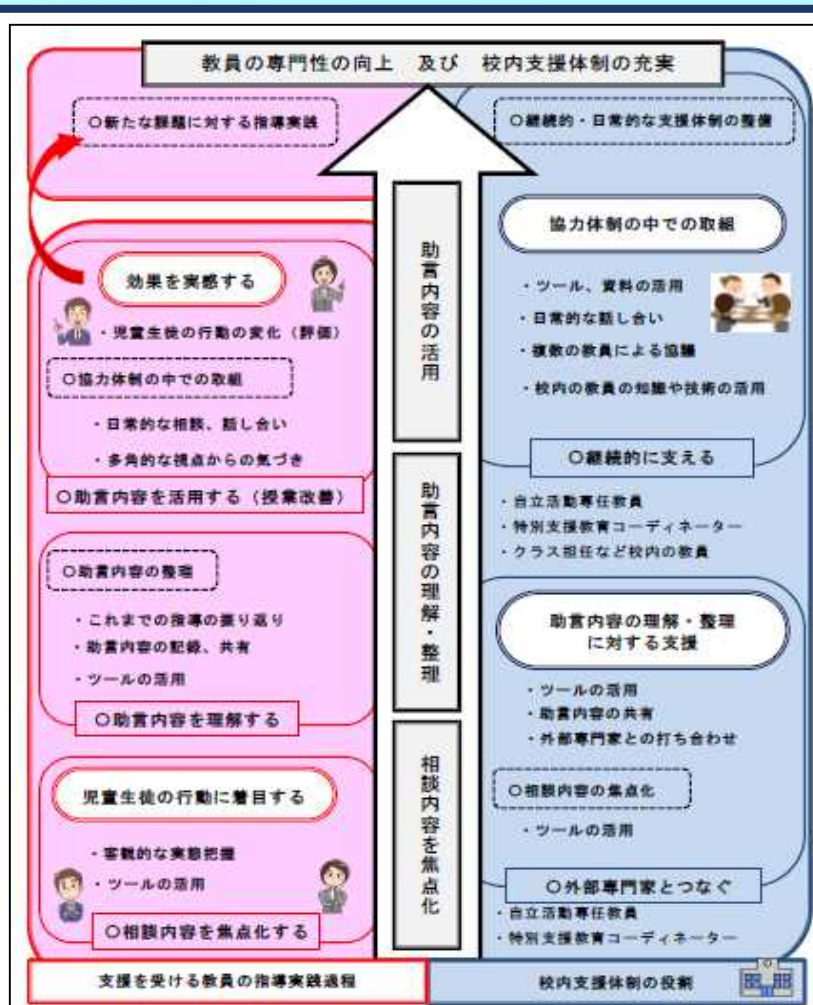
特徴

外部専門家を活用した専門性の向上を目指した実践について、自立活動の指導におけるコミュニケーションに関する指導の充実にスポットを当て、その教育的効果を高めるためにKeyとなる項目と課題について、実践事例を基に支援を受ける教員の意識や指導の変容過程に着目して分析しています。外部専門家の活用は、学校からの要請によって行われますが、活用件数は年々増加しており、必要性和効果が認識されてきていることが伺われます。

活用していただきたい方

- ・特別支援学校の自立活動担当の先生
- ・特別支援学校の学級担任の先生
- ・特別支援学校の特別支援教育コーディネーターの先生

研究成果の活用



- ・効果的に外部専門家を活用するためには、教員間で共通のツールを使用することが有効になります。学校内のチームによる取組において、共通して使用できるツールや協議内容の可視化が必要であることが認識される中、個別の指導計画など既存の資料を活用することが有効であります。
- ・学校種に応じた連携システムをモデル化して実践することは、学校種を問わず、外部専門家と教員の協働・連携を充実させるものといえます。

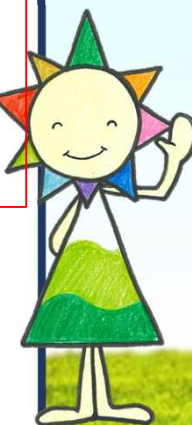


図1 外部専門家を活用した指導実践に関する仮説モデル

研究の内容と主な成果

この研究は外部専門家による支援を受けた教員が、その指導・助言をどのように受け止めたのか、そこに周囲の教員はどのような支援を行ったのか、それによって、教員の意識や指導がどのように変容していくのかなどを、事例を通して分析したものです。

インクルーシブ教育システム構築を推進するためには、特別支援学校における校内支援体制の充実が重要となります。それは、外部専門家を効果的に活用する上でも同様であり、外部専門家の助言を生かすために、助言された内容を教員により理解しやすい形にして伝えることや校内全体で共有すること、助言を活用しやすくするための教員の専門性向上の工夫等が有効となります。これらの実現のためには特別支援教育コーディネーターの関与が重要です。また、こうした取組を通して特別支援学校全体の専門性を高めるとともに、センター的機能を充実させ、地域の小学校、中学校等への支援に取り組むことは、小学校、中学校等の教員の特別支援教育に関する専門性の向上にもつながることとなります。

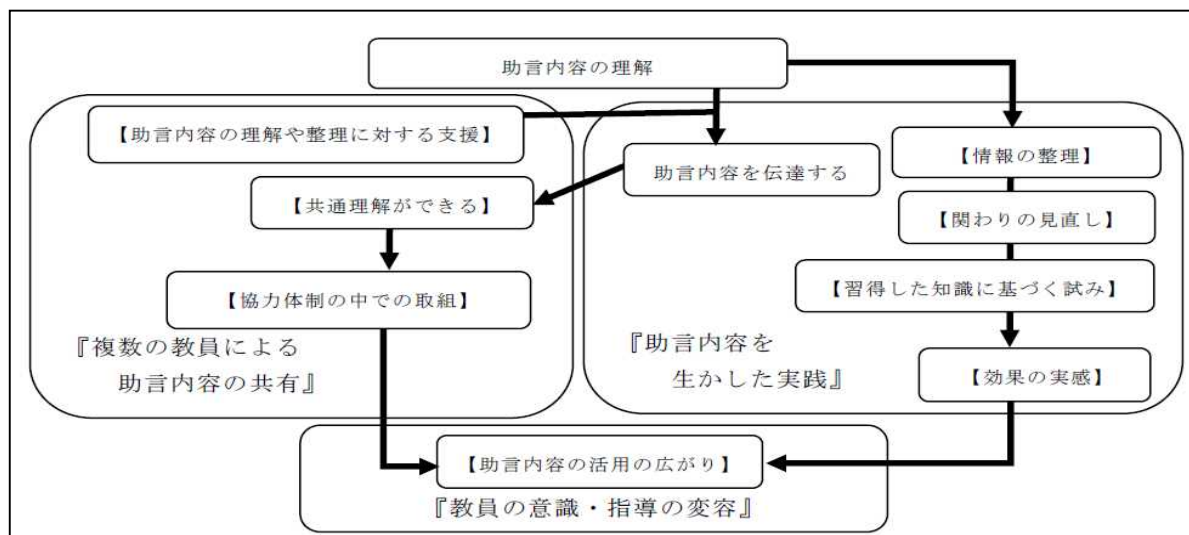


図2 助言を受けた後の専門性の向上プロセス

様々な制限がある外部専門家の活用において、限られた機会や時間をより有効に効果的に活用するためには、相談内容が焦点化されている必要があり、「児童の行動」への着目が効果的な活用のための鍵となる項目になることが示唆されています。

インクルーシブ教育システム構築との関連性

1. 体制整備 : (1-1)園内・校内の支援に係る体制整備
4. 指導体制 : (1-1)指導体制の整備・充実
7. 研修 : (1-1)園内・校内における研修の実施

*インクルーシブ教育システム構築の観点とは、国立特別支援教育総合研究所横断的研究「我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究」で検討したインクルCOMPASSの観点を規準にしています。

詳しい内容
は報告書を
ご覧下さい

地域実践研究 地域におけるインクルーシブ教育システム構築に関する
研究 報告書
外部専門家を活用した専門性の向上－高知県の現状と取組から－（高知県）

P271-294

https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/specialized_research